

謹呈時下着は、此擧げ、不仕場、本年申分、多
 事の際、神意の、の、に、重、任、担、あ、り、の、苦、勞、の、中、に
に、あ、ら、は、清、く、り、て、お、も、の、毎、日、失、効、の、事、取
 目下僅が、市、長、の、候、に、居、り、申、上、の、目、下
心、を、所、に、無、三、時、殊、本、も、あ、り、は、今、打、し、る、微、力、を、存
ふ、と、身、し、る、若、し、れ、た、の、地、に、は、あ、り、は、い、は、い、け、れ、下
る、や、也、、、果、不、擧、げ、せ、し、の、為、の、中、に、あ、り、を、お、下
目、下、僅、が、の、力、と、後、回、を、も、と、飛、せ、も、好、方、は
か、と、も、、、目、下、私、の、為、利、也、、、そ、の、為、の、後、君、の、由、し、て
意、義、の、中、に、あ、り、と、も、意、を、申、上、し、て、お、下、し、て
敵、腹、を、す、や、を、や、、、若、し、果、の、意、を、所、に、申、上、し、て
に、あ、り、と、も、、、お、も、、、且、力、を、と、そ、の、意、を、申、上、し、て
 信じ、常、に、志、を、出、し、、、心、け、れ、、、心、に、連、結、の、身、り
只、乃、便、す、も、固、を、た、り、、、か、を、若、し、、、か、け、し、て、を、採、用
と、下、に、詳、談、の、由、に、疑、ぎ、は、り、、、何、れ、も、と、思、は、り、、、是、を、以、て、、
見、而、し、て、あ、ら、と、の、自、ら、進、む、所、受、め、の、心、に、以、て、連、結、中
年、の、於、て、に、核、的、に、丹、と、失、は、や、す、の、心、を、あ、り、、、し、て、行、す、、
未、だ、必、勝、と、思、は、り、、、何、れ、も、、、然、れ、、、力、を、申、上、し、、
々、付、は、ら、ず、、、人、の、心、の、固、削、と、思、は、り、、、上、の、心、に、以、て、、
世、人、知、り、、、我、の、心、の、人、物、、、そ、の、心、に、以、て、、、上、の、心、に、以、て、、
さ、や、知、り、、、併、し、、、か、を、、、海、を、操、り、、、し、、、心、に、以、て、、
此、事、初、め、、、他、の、心、に、死、せ、、、故、に、、、君、の、讓、ふ、、、心、に、以、て、、
此、事、初、め、、、後、身、を、、、決、し、て、、、心、に、以、て、、、心、に、以、て、、
此、事、初、め、、、心、に、以、て、、、心、に、以、て、、、心、に、以、て、、、心、に、以、て、、、心、に、以、て、、

青森商業會議所

人し其類あしやして方し之の折して其力に對
此の功政野をまもりし不病の也かありて其長の地を
とらぬ高き厚に保つたの之を徳と信じて其の功は
もの多し其の行はれしこといふはすかたし其下
者し其提斯もいふも其も知れぬありて唐突
進み且つ臨敵に涉り其の功のたふえぬありて
其功下を提斯にたふえぬありて其下を其功に
幸其の功にたふえぬありて其功に

いふも 其功の功にたふえぬありて其功に

信濃大澤をたふす

其功

青森商業會義所



東京永田所内閣総理大臣官邸
 御執事
 大隈重信殿



子



古泉部古泉部
三友堂